

クスリ：ジェネリック

Q5 転院したらクスリが変わりました。「ジェネリック品で中身は全く同じです。」といわれましたが、ジェネリックとはどんなクスリですか？ 何か利点があるのでしょうか？

A5 ジェネリック医薬品とは、日本語では「後発医薬品」といいます。「後発」ならば「先発」があるのでしょうか？

新薬が開発されて市販されるまでに、10年以上の年月と300億円以上の費用がかかるといわれています。それは、基礎研究・臨床試験などで有効性・安全性を証明して国に申請し、承認されてから発売になるからです。また、有効成分や製造工程などに対する特許が取られ、新薬はそのメーカーで独占的に製造・販売されます。このような新薬を「先発医薬品」といいます。20～25年経って、先発医薬品の特許が切れると後発医薬品の申請が認められます。後発医薬品で審査されるのは、先発医薬品との同等性のみとなります。つまり「同じ成分を同じ量含んでいること」と「飲んだクスリの血中濃度の推移が先発医薬品と全く同じであること」を証明するだけなので、発売までの時間も費用も少なく済みます。したがって、ジェネリック医薬品は先発医薬品と同じ薬効成分で、価格の安い医薬品ということが出来ます。

この価格が安いことがジェネリック医薬品

の大きな利点です。海外では日本以上に使用されています。日本でも国がジェネリック医薬品の使用を推進しています。医療保険財政の厳しい今日、日本の医療を維持していくために、私たちもジェネリック医薬品を使用し協力する必要があります。

また、先発医薬品が独占的に使用されていた20～25年の間に製剤技術は大きく進歩しており、飲みやすさや使い心地の良さでは先発医薬品を凌ぐジェネリック医薬品もあります。これも大きな利点です。

転院されてクスリがジェネリック医薬品に変わったとのことでご不安かと思いますが、今まで通りのご使用で問題はありません。ただ、すべてのクスリにジェネリック医薬品があるわけではありませんし、塗りクスリ、貼りクスリ、吸入薬などは、先発品との同等性や使い心地を十分に検討する必要があります。今後も医師・薬剤師と相談してジェネリック医薬品を積極的に使っていただきたいと思えます。

(松倉泰世/さいたま つきの森クリニック・薬剤師)